

笠岡市保健センターにおける

新型コロナウイルス感染症拡大防止注意事項

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間、施設利用の際は以下の利用にご協力いただきますようお願いいたします。

～3密（密閉・密集・密接）にならないようにご利用ください～

- ①発熱や風邪症状など体調の悪い方はご利用をお控えください。
- ②利用時はマスクの着用をお願いします。
- ③利用前・利用後の手洗いやアルコール等による手指消毒を行ってください。
(手指消毒用のアルコールは主催者で準備をしてください。)
- ④利用者定員は以下の制限を設けております。(2020. 11. 20改訂)
大研修室（ギャラクシーホール） 2 2 2名以内
研修室 2 5名以内
- ⑤感染者が発生した場合に備え、利用者・来場者全員と速やかに連絡が取れる体制をとってください。
- ⑥大きな声での会話等をご遠慮ください。
- ⑦窓や扉を開けてこまめに換気をしてください。
(空調の利きが悪くなることが考えられますが、予めご了承ください。)
(民家が隣接していますので、換気中は、大きな音量を出しての行事はお控えください。)
- ⑧配席の間隔を空けるなど、利用者同士の間隔は適切な距離をとってください。
(エレベータでは、密集を避けてください。)
- ⑨水分補給以外の飲食をご遠慮ください。

※今後、新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、急な制限の変更や休館を行う場合があります。変更等があった場合は、社会福祉協議会ホームページ等でお知らせしますのでご確認ください。

6. 公演主催者に協力を求める具体的な感染防止策

(1)(2)省略

(3) 公演関係者に関する感染防止策

- ・公演主催者及び公演関係者は、その表現形態に応じて、出演者間で最低1mを目安とした十分な間隔をとるなど、可能な限り感染防止に努めるようにしてください。
- ・公演時の出演者を除き、施設内ではマスク着用を原則とし、公演前後の手指消毒を徹底してください。
- ・楽屋、控室、稽古場等でも不特定多数が触れやすい場所の消毒を定期的に行い、必要箇所に手指消毒用の消毒液を設置してください。

また、楽屋は密にならないように定員を調整するとともに換気を励行ください。

ケータリングにおいては、使い捨ての紙食器を使用するなど、十分な感染防止対策を十分に講じること。

機材や備品、用具等の取り扱い者を選定し、不特定者の共有を制限してください。

その他、練習・稽古や仕込み・撤去等においても十分な感染防止措置を講ずるようにしてください。

(4) 来場者に関する感染防止策

- ・来場前の検温の要請とともに、来場を控えてもらうケースを事前に十分周知し、その際に来場者ができるだけ不利益を被らず、有症状者の入場を確実に防止できるよう、状況に応じてチケットの振替や払戻等の対応策を講じてください。
- ・来場者側の自己検温だけでなく、公演主催者側でも会場入場時に検温等の対策を講じてください。
- ・入退場時の密集回避のため、時間差の入退場や導線の確保、人員の配置等を行うことにより、十分な距離（最低1m）の間隔を保持して下さい。
- ・公演後の出待ちや面会等は控えるように注意喚起してください。
- ・チケットシステム等の活用により、来場者の氏名及び緊急連絡先の把握に努めてください。また、来場者に対して、こうした情報が来場者から感染者が発生した場合など必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知してください。
- ・公演中の携帯電話等の抑制案内は、接触確認アプリの作動を妨げないように「マナーモード」設定を推奨します（携帯電話抑制装置の使用は作動には干渉しません）。
- ・配慮が求められる来場者、障害者や高齢者等については事前に対応策を検討してください。
- ・交通機関・飲食店等の分散利用等の公演前後の感染防止について注意喚起してください。

(5) 会場内での感染防止策

① 接触感染防止策

- ・公演主催者は、会場内の不特定多数が触れやすい場所の消毒を定期的に行ってください。
- ・公演主催者は、会場の出入口等の必要箇所に手指消毒用の消毒液を設置してください。不足が生じないよう定期的な点検を行ってください。
- ・物品を介した接触感染を防止するため、入場時のチケットもぎりの簡略化（来場者が自らもぎって箱に入れ、主催者は目視で確認する）等を検討してください。
- ・チラシ・パンフレット・アンケート等の手渡しは極力避けてください。また、避けられない場合には手袋の着用を徹底してください。

- 公演後の面会等、公演関係者と来場者の接触は控えるように周知してください。
- プレゼントや差し入れ等は控えてください。
- 機材や備品、用具等の取り扱い者を選定し、不特定者の共有を制限してください。
- 来場者や関係者等、それぞれの立入り可能エリアを限定（来場者が楽屋エリア等に立ち入ること等を制限）してください。

② 飛沫感染防止策

公演の内容等によりませんが、原則的には来場者は公演中、一方向を向き会話等が想定されないことから、公演中もマスク着用を徹底することにより、一定の感染抑制が可能となります。加えて休憩時間や入退場時に密集が発生しないように対策を講じてください。また、大声を出すものがいた場合は、個別に注意等を行ってください。

【公演関係者（特に出演者）⇔来場者間の感染防止策】

- 感染リスクが高まるような演出（声援を求める、来場者をステージに上げる、ハイタッチをする等）は控えてください。
- 来場者の案内や誘導に際しては十分な間隔（最低1m）を取るとともに、マスク着用に加え必要に応じてフェイスシールド等を着用してください。
- 来場者と接する窓口（招待受付、当日券窓口）等では、アクリル板や透明ビニールカーテン等の間仕切りを設置し、来場者等との間を遮蔽してください。

【来場者⇔来場者間の感染防止策】

- 客席内ではマスク着用を必須とし、未着用来場者に対しては配布や販売等や、個別に注意等を行うことにより着用を徹底してください。
- 休憩時間や入退場時間は、会場の収容人数や収容率、入退場経路等を考慮し、余裕ある時間を設けてください。
- 休憩時間や入退場時には会話抑制を周知するとともに、ロビー等での近距離における対面での会話や滞留を抑制するように促してください。
- 休憩時間や退場時の客席からの移動に際しては券種やゾーンごとの時間差とし、滞留を抑制してください。
- 休憩時間のトイレや飲食カウンター等では、ロビー等の広さを踏まえて、十分な間隔（最低1m）を空けた整列を促してください。
- 会場内での食事は、長時間マスクを外すことが想定されますので控えてください。

(6) その他、物販等

- 現金の取扱いをできるだけ減らすため、オンラインでの販売や、キャッシュレス決済を推奨します。
- 物販に関わる関係者は、マスクの着用に加え、必要に応じて手袋やフェイスシールド等を着用ください。
- 多くの者が触れるようなサンプル品・見本品は取り扱わないでください。
- オペラグラス等の貸出物について十分な消毒を行うとともに、十分な消毒が行えない場合は貸し出しを行わないようにしてください。